

外壁アスベスト含有量調査時、除去施工時の注意事項

アスベスト含有建材の確実な種別判定のお願い

外壁仕上げ塗材の石綿含有調査は、吹付塗材に含有か下地調整材(モルタル補修材)に含有か判断できるよう調査してください。

外壁塗材に含有するアスベスト(石綿)が吹付塗材に含入なのか、下地調整材に含有なのかによって、除去法が変わります。調査時にどの建材に混入しているかを特定させることで適切な除去工法選定、除去レベル選定を行うことができます。

※調査方法によっては、塗材と下地調整材を採取混合して調査する場合がありますが、この場合どの建材にアスベストが含有しているか解らないため、アスベスト(石綿)検出時には、下地調整材を除去できる工法選定をする必要がありますのでご注意ください。

トラブル事例

石綿調査後アスベストを検出したので、剥離剤を使用して除去を行ったが、下地調整材を除去できなかった。

集じん装置付きディスクグラインダー工法で除去作業中にヘパフィルター付き集塵機が詰まりグラインダー周辺でアスベストが飛散した。

剥離剤併用高圧水洗工法で除去を行った、周囲養生を行わず作業した為アスベスト塗材が飛散した。

剥離剤を使用して吹付塗材を除去した、除去後の石綿調査で下地調整材からアスベストを検出した。

剥離剤を使用し、下地調整材をスクレーパー等使用して強引に除去を行った、気中濃度測定でアスベスト繊維を検出した。

集じん装置付きディスクグラインダー工法で除去作業中における集塵機内アスベスト廃材排出中に隔離養生内で作業を行わなかったため、アスベストが飛散した。

集じん装置付き超高圧水洗工法で排出されるアスベスト含有水をろ過せず放流した。

※乾式施工時のアスベスト粉塵は非常に飛散しやすいので、施工時、廃材排出時は特に注意が必要になります。

※外壁仕上げ塗材に含有しているアスベストは、下地調整材(モルタル補修材)に比較的含有量が多く、調査後検出される事例が多いためご注意ください。

※調査後下地調整材からアスベストを検出した場合、特定粉塵排出届等の労働基準監督署、環境局への届け出は不要です。